

# はんの梢

学校教育目標

ゆたかな心 たくましい力

R5 重点目標

みがく〜どんどん やってみよう〜

学校だより 9月号

大井川東小学校

R5. 9. 14

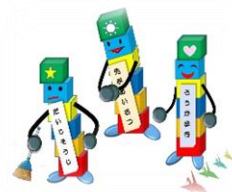


検索【大井川東小学校】

## 「ウェルビーイング」の実現を目指し

夏休みが終わり、学校が再開してから半月ほどが経ちました。子供たちの元気な声が学校に戻り、再び活気に満ちた日々が送られています。

新型コロナの感染法上の位置づけが5類に移行されたことで、多くの制限が解除されたこともあり、これまでと違う、思い思いの夏休みを過ごしてきた子供たちからは、多くの体験談を聞くことができました。そんな子供たちを見ていると大きな成長を感じます。この休暇中、水難事故、交通事故等子供の命が失われるニュースが多く報道されましたが、本校の子供たちが安全に過ごすことができましたのも、保護者の皆様のおかげであり、地域の皆様のご協力のおかげと深く感謝しております。9月からは多くの行事も控えています。これまで以上に子供たちが安心・安全の中で十分な活動ができるよう職員一同、精いっぱい努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力もどうぞよろしくお願いします。



さて、最近「ウェルビーイング」という言葉をよく耳にします。厚生労働省は「個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念」としています。心身と社会的な健康を意味する概念で、決まった訳し方はないようですが、満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態など多面的な幸せを表す言葉ともいわれています。

なぜ、「ウェルビーイング」という言葉が注目されてきたのか、様々な理由があるようですが、経済的観点からは、今後は人々の幸福を基準とした考えに直すということ、コロナにより健康意識が高まり、感染を食い止めるためにはコミュニティへの投資が重要という認識へとつながっているということなどがあるようです。

何だか難しい話ですが、新しいことを取り入れるということではなく、意識を変えることだと思います。学校においても「ウェルビーイング」を大切にし、そのうえで子供たちのウェルビーイング、家庭・地域のウェルビーイングを目指すことが大切だと感じております。そのためには、他者理解が必要だと考えます。学校にいる子供は一人一人違います。100人いれば100通りの関わりが必要です。一人一人が自己主張ばかりしては、関わりは生まれません。「こう言ったら相手はどう思うかな。」「これをしたらどうなるかな。」と想像力を働かせて、相手を意識した行動を起こせば、相手も納得、自分も納得、それを見ている周りも納得と、みんなが幸せな状態になると考えます。学校はそれを体験し、失敗したらやり直し、また新たな体験を積んで、成長できることです。子供たちのウェルビーイングを目指し、感謝の気持ちと物事をポジティブに捉え、前向きに取り組む気持ちを大切に生活していこうと思います。

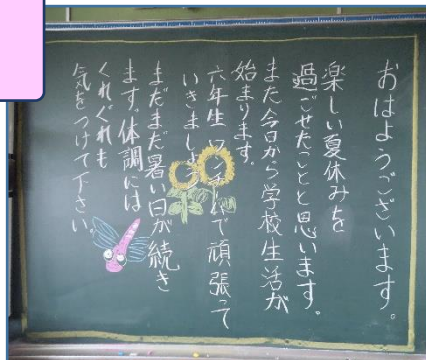
### お知らせとお願い

- ・本校の卒業生が教育実習生として約4週間の実習を行っています。子供が大好きな2人、先生を目指して頑張っています。朝は玄関で元気よく挨拶をしています。
- ・10月17日（火）は高学年、19日（木）は低学年の授業参観が行われます。14時15分から15時です。地域の皆様もぜひ、子供たちの学ぶ姿を見にいらしてください。
- ・以前にもお知らせしたように、給食カレンダーは配付せず、本校のホームページより確認できます。また、不定期に子供たちの様子も掲載されるので、時々、ホームページをのぞいてみてください。
- ・理科室、家庭科室など特別教室で使用する雑巾が不足しています。地域の方も含め、もし、寄付して下さる方がありましたら、1枚から受け付けておりますので、ご協力をよろしくお願いします。

# チャレンジステージ後半スタート

## 夏休み明けの子供たちを迎える おはよう黑板

夏休み明け、教室に入った子供たちのために、担任の先生方は黑板にイラスト入りのメッセージを書きました。夏休みを振り返りながら、今日から頑張るぞという思いになったことでしょう。



## 通学班会議・集団下校



地域で行われた防災訓練にも参加し、一人一人の防災への意識が高まった中、学校でも津波を伴う地震への避難訓練を行いました。今回は、行方不明者もいるという想定で、慌ただしく動く先生方の姿に子供たちも緊張した様子でした。

その後、6年生による交通安全リーダーと語る会を生かし、通学地区ごと集まって再度、登下校中の安全について確認をしました。本校は、見守り隊の皆様が子供たちの安全のために登下校を共にしてくださっています。ありがとうございます。しかし、子供たちは、頼るばかりではなく、自分自身が常に安全に登下校できるようにしていくことが大切だと感じていました。



ミストシャワーを付けました。



6年生理科 顕微鏡で植物の気孔の観察